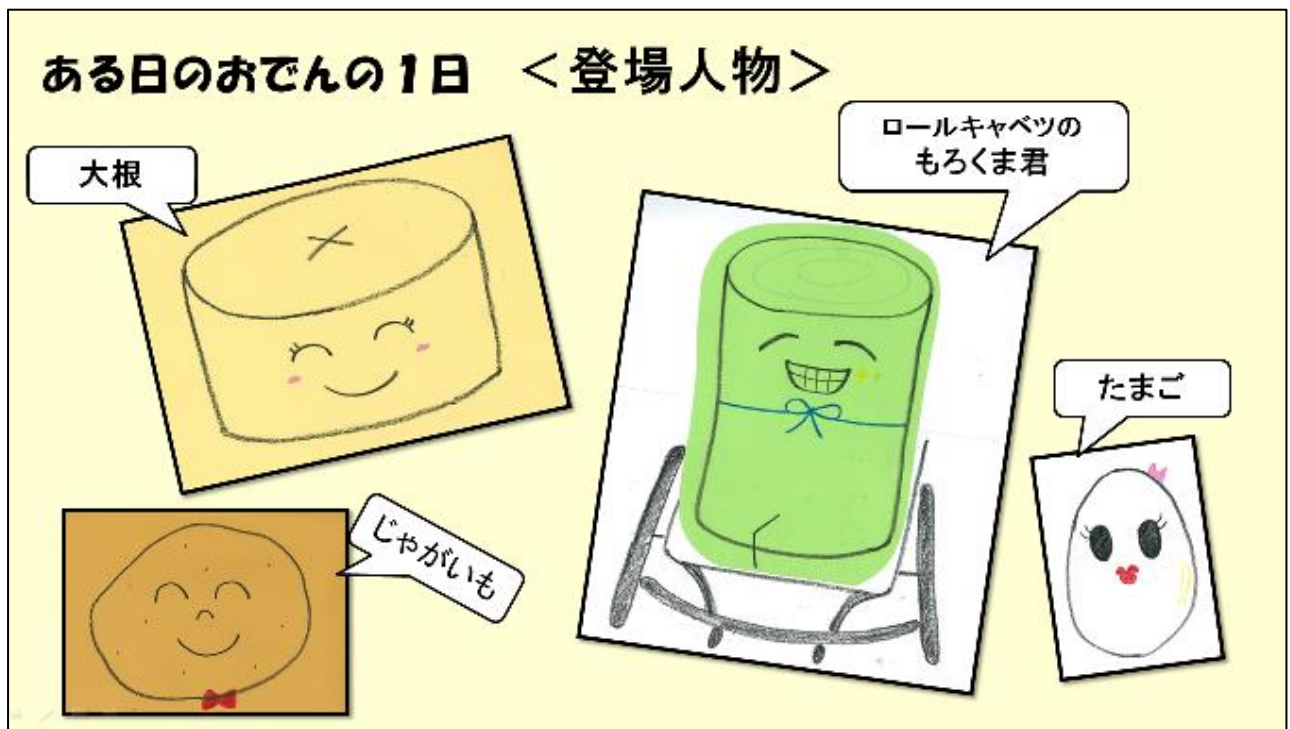


ある日のおでんの1日

もろくまくんが来たよ

とよなか地域創生塾 チームおでん最終プレゼン台本

2018/02/24



	ナレーター	ここはとよなか地域創生塾のおでんの鍋の中 何やら具が集まって話をしています。
1	大根	誰か美味しいダシを出してくれる新しい仲間が欲しいなあ。
2	じゃがいも	あ！あいつがいい！よし連れてくるよ！
3	大根	あ！誰か来たぞ！なんだ？？
4	もろくまくん	やあ！俺の名前はもろくま。よろしく頼むで！
5	大根	不思議な乗り物に乗ってるね？ ロールキャベツって洋風やし・・・
6	もろくまくん	これ？車椅子っていうねん。 見慣れてなかったら不思議やんな。 初めて飛行機を見た時って衝撃的やったと思うけど、 今はみんな慣れて、飛んでもなんとも思わへんやろ？ 肌の色や体の形が違って同じや。 それぞれ違って普通なことに慣れてないだけ。
7	大根	どうして車椅子に乗ってるの？
8	もろくまくん	バイクでキャベツ畑に向かってる時に事故してしまって、 片足なくなってん。
9	大根	なんか大変そうだけど大丈夫？
10	もろくまくん	みんなそうゆう風に聞くねんなあ。 確かに車椅子は不便な時もあるけど、大変じゃないで！ 海外も行くし、クライミングもスキーもする！バスケットもこんな感じ♪ シューン（キャラクター動かす）
11	大根	すごーい。かっこいい！
12	もろくまくん	俺も足を失うまでは、車椅子かっこ悪いってイメージやってん。 でもそれは、大人やメディアからのイメージやったってわかってん。 いろんなところに話しに行くねんけど、 先生が“車椅子で大変なのにわざわざここまで来てくれました” って紹介したら、みんな“大変、かわいそう”って思ってしまうねん。 そのイメージを持っていたら、子供にまたそのイメージがついてしまうやろ。
13	大根	私もそう習ってきたよ。 でも、今日もろくまくんとお友達になれたことで、イメージが変わったことを みんなに伝えて広げたら、少しずつ変わるかもしれないね！
14	もろくまくん	今想うと、車椅子になる前の俺の方が今より不自由やったわ。 自分で限界決めてた。今の方が自由になったって感じる。
15	大根	もろくまくんは、とっっても前向きだね！
16	もろくまくん	できないことを探すのではなくて、できることを数えよう！ っていつも話してるよ
17	大根	困った時、どうやって解決するの？

		困っている車椅子の人をうまく助けられない時、どうしたらいい？
18	もろくまくん	確かに1人では解決できないこともあるけど、今までいろんな経験をしてきて、 “3人そろえばバリアフリー”って言ってるねん！ 何とかなるねん。 だからお手伝いしようと思う人もそう。 気にせずにわからなかったら聞いてみたらいい。絶対いやじゃないから！ 「困った！」を発信することも大切！助けてもらった人こそ助けることが出来るねん。困ったら言い！助けてもらい！そのあと助けれるから。
19	大根	そっか。今まで車椅子に乗ったおでんと知り合うことがなかったからわからなくて避けてしまっているところがあったけど、話を聞いてみると、仲良くなれた！
20	たまご	私、事故に合ったおでんの具が運ばれてくる病院の看護師だったの。 その後の人生を聞くことがないから、こんな美味しいおでんの具になっている姿を見て感動したわ(T_T)
21	じゃがいも	普段からいろんな人に出会うことで、バリアはなくなっていくかもしれないね。 障害に対してバリアフリーっていう言葉をよく使うけれど、 きっとどんな人間関係にも通じる言葉なんだね。
22	大根	もろくまくんからいいダシが出て、みんなさらに美味しくなれたよ、 ありがとう！
23	もろくまくん	俺もみんなのいいダシを吸収しながら、おでんの鍋の一員になれて嬉しかったわあ。
24	大根	また新しい具と出会うのが楽しみだね♪ みんなそれぞれ違っていい。知ることから始めよう！
	ナレーター	こうして今日もたくさんの具がお鍋の中で待っています。 みんなが主役です。 あなたもおでんの鍋で煮込まれてみませんか？